

第31期

ビーイング通信

平成26年4月1日 ➡ 平成27年3月31日

3-4

株主の皆様へ

売上高が前年同期比1.1%増。
純利益は5.1億円となりました。

5-6

トップインタビュー

おかげさまで4期連続増収増益。
今期経常利益6.4億円を目指します。

7

子会社プラスバイプラス トップインタビュー

私たちは、仕事を楽しみ豊かさと幸せを創ることで、
関わる仲間、お客様、業界、日本を幸せに豊かにする
プラスの連鎖を生みだし続けます。

8

連結財務ハイライト

9-10

会社概要／株式の状況

感謝・感恩・報恩

APPRECIATION

GRATITUDE

RETURN THE FAVOR

建設関連事業

建設業界の業務フロー全体を支援する「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia9

BeingProject-CCPM
Critical Chain Project Management

BeingCollaboration®

BeingBid
Bid management system

BeingBudget

CPDS Web セミナー



評点PLUS+

コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。

海外展開へ

TOC関連ソフトは、海外のお客様からも多数お問い合わせをいただいております。英語版は欧米、アジア各地の製造業をはじめとしたお客様にご利用いただいております。さらに、2013年10月には、ミャンマーにオフショア開発のための子会社を開設しました。

TOC関連事業 想定外を想定内にするプロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術開発、商品・サービス開発、システム開発など様々なプロジェクトの工程管理に効果を発揮、経営改善に役立ちます。国内外の約800社（製造・サービス・IT業など多業界）に採用され、プロジェクト管理ツール市場においてシェアNo.2（※）。2014年にはクラウド型商品も発売。当社の第二の柱として確立することを目指しています。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）

BeingManagement 3
Critical Chain
Project Management

INSYNC

TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

設備関連事業 「どこでも、誰でも」を実現する 水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスバイプラスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。ビーイングとプラスバイプラス互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供しています。



ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第31期末時点での当社事業内容および当期の状況について
ご説明申し上げます。

代表取締役社長 末広 雅洋



売上高が前年同期比1.1%増。純利益は5.1億円となりました。

当連結会計年度における我が国経済は、消費増税後の反動減による個人消費の低迷があったものの、政府の経済政策及び日銀による金融緩和により、企業収益や雇用情勢の改善が進んでおります。

このような状況の中、当社グループでは、継続的な商品力の強化と販売・サポート力の向上に努めてまいりました。土木工事積算システムや設備業向けCADソフトウェアなど主力の各商品が産業競争力強化法に基づく先端設備（ソフトウェア）に登録されるなど、評価を高めております。また、プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント分野においては、お客様により価値の高いサービスを提供することを目指し、ソフトウェア販売とコンサルティング・サービスを一体で提供できる体制構築を進めております。

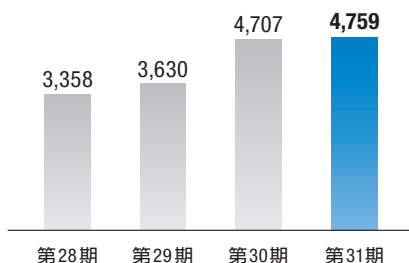
この結果、当連結会計年度における売上高は、前連結会計年

度に比して1.1%増加し4,759百万円となりました。コスト面では、提携コンサルタントへの報酬などの増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、経常利益は前年同期に比して1.2%増加し623百万円となりました。

当期純利益につきましては、一部の電力会社が再生可能エネルギー発電設備の接続について回答を留保するなど、一括見積りサイト運営事業の収益環境が大きく変化する見通しとなったことから、当該事業にかかるのれんを減損し、減損損失37百万円を計上いたしました。一方で、近年の業績が堅調に推移し、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、税効果会計上の会社区分の見直しを行いました。これによって、法人税等調整額149百万円を計上いたしました。この結果、当期純利益は、前年同期に比して22.7%増加し、518百万円となりました。

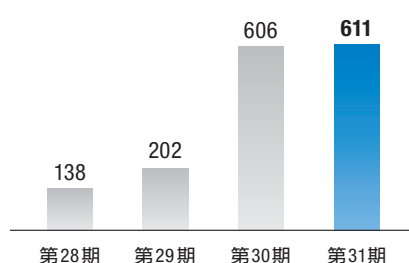
売上高

(単位: 百万円)



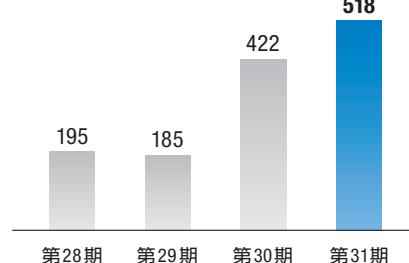
営業利益

(単位: 百万円)



当期純利益

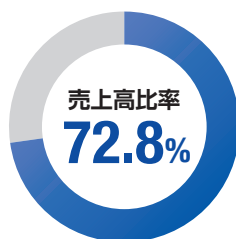
(単位: 百万円)



建設関連事業

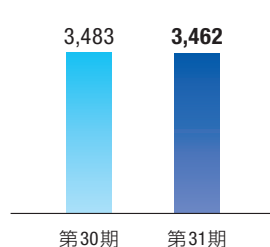
建設関連事業につきましては、主力の土木工事積算システムなど建設業界向け商品群は、期初に前年度末の駆け込み需要からの反動減による影響があったものの、その後は堅調に推移しております。一方で、プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント分野においては、ソフトウェアとコンサルティングを一体で提供する体制へと販売戦略を大きく転換する過渡期にあり、期初計画を下回って推移しております。また、一括見積りサイト運営事業については、政府の再生可能エネルギーに対する政策転換などの影響から期初計画を大きく下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、前年同期に比して0.6%減少し3,462百万円となりました。セグメント利益は前年同期に比して8.3%増加し390百万円となりました。



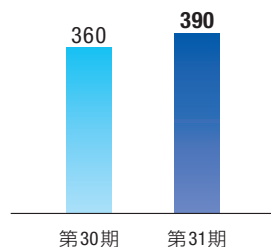
売上高

(単位：百万円)



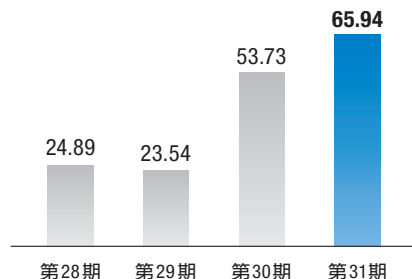
セグメント利益

(単位：百万円)



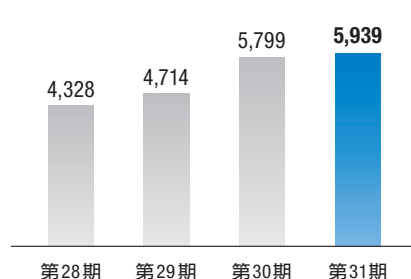
1株当たり当期純利益

(単位：円)



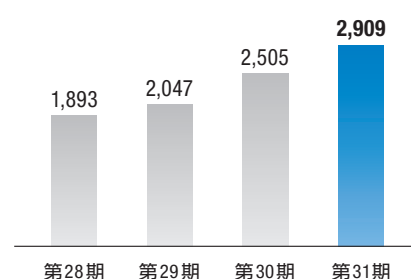
総資産

(単位：百万円)



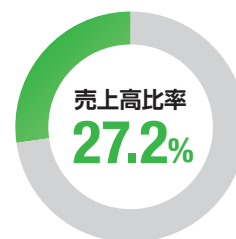
純資産

(単位：百万円)



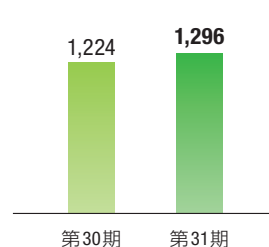
設備関連事業

設備関連事業につきましては、徹底した顧客サポートを通じて顧客満足度を高めることで、紹介案件やバージョンアップ販売の増加に努めてまいりました。あわせて、付加商品の販売による商談単価の向上に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は、前年同期に比して5.9%増加し1,296百万円となりました。利益面では、人員増強を進めるとともに、コーポレート・ブランディングや社内体制の整備を行い、さらなる成長に向けて積極的な投資を行ってまいりました。この結果、セグメント利益は前年同期に比して11.0%減少し237百万円となりました。



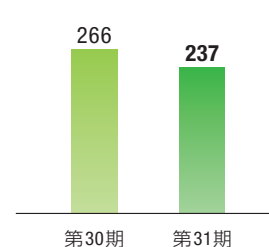
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



おかげさまで4期連続増収増益。 今期経常利益6.4億円を目指します。

Q

4期連続増収増益の要因は？

A

昨年3月期は、消費増税前の駆け込みや、WindowsXPのサポート終了といった強い追い風を受けて、売上を伸ばすことができました。その反動から、4月は厳しい数字のスタートとなったわけですが、6月以降は復調し、おかげさまで増収増益を達成することができました。社長就任以来4期連続して、売上・利益両方を伸ばせましたことを大変誇らしく、また、ありがたいことと思っております。

この背景には、お客様である建設業界の好景氣に加えて、当社の商品力・販売力の成長があると考えています。たとえば、「ローカライズプロジェクト」。実は、積算で使われるデータには地域ごとにクセのようなものがあります。このクセを細かく分析することで、計算結果の精度を上げようという取り組みです。1円単位での厳しい入札をされてみえる建設業の皆様から高い評価をいただき、売上増となりました。

ここで得られたノウハウは各拠点のインストラクターが共有し、細やかなお客様フォローに活かされ、全体の底上げにつながったものと考えております。

一方の、プロジェクトポートフォリオ・マネジメント管理分野におきましては、海外の第一線で活躍するコンサルタントの協力を得て、同等レベルのコンサルティング・サービスを自社で提供できるようになってきました。これにより質の高いコンサルティング・サービスを、ソフトとセットでお客様にお届けできるようになります。今期はこれらの活動をさらに強化させて、グループ全体で経常利益6.4億円を目指してまいります。どうぞ期待ください。

Q

ミャンマーの状況は？

A

ご存じのとおり、ミャンマーでは2011年の民主化から市場開放がハイピッチで進み、国中が活気にあふれています。訪問のたび変わる街並み

を見て、高度経済成長期の日本もきっとこんなであったろうと、感慨深いものがあります。ミャンマーに進出した日本企業は300社を超え、民主化前の5倍以上だそうです。日系銀行の現地出店も本格化しており、この勢いはしばらく続くでしょう。

とはいえ、近隣諸国に比べると、人件費をはじめとしたミャンマーの物価はまだまだ大変低く抑えられています。比較的早くに進出した我々は、地元大学との連携を深め、優秀な人材をたくさん採用できました。ポテンシャルの高い若者を雇用し、ビーイングが持つノウハウを使ってしっかり教育することで、当社グループの開発拠点として国内に負けない技術者集団となることを目指しています。

雇用拡大と人材育成の両面からアジア新興国の成長を下支えできる事業です。高い志を持って取り組んでおります。

監査等委員会設置会社へ移行した理由は？

 「監査等委員会設置会社」は5月1日の改正会社法で新設されました。監査役会はおかれず、過半数の社外取締役からなる「監査等委員会」が取締役の業務執行を監査します。従来の監査役には取締役会での議決権が

ありませんでしたが、監査等委員は、取締役会の決議に参加します。これはつまり、経営に社外の目が入るということで、監視機能の強化が図れます。日本の監査役会制度になじみがなかった欧米の投資家からも理解されやすい制度ですから、市場での信頼度も上がるでしょう。

導入メリットが多いと判断し、いち早く移行を決めました。今後この制度を採用する会社は増えていくと考えています。





理念

私たちは、仕事を楽しみ**豊かさ**と**幸せ**を創ることで、
関わる仲間、お客様、業界、日本を幸せに豊かにする
プラスの連鎖を生みだし続けます。



想いに寄り添い、つなげる未来

プラス バイ プラス

代表取締役 室田 茂樹

Q 改めて会社について聞かせてください。

2000年創業の若い会社で、水道・電気設備業者様向けCADソフトを販売しています。昨年、企業理念をリニューアルしました。仲間や、私達の商品、お客様、それぞれのプラスを足し算するだけでなく、さらに乗算し、無限のHappy Together＝「プラス」の連鎖を生み出そうというものです。メイン商品の「plusCAD」は、工事の申請書類・図面・見積書を作成するソフトで、お客様の声をもとに常にバージョンアップされ、初めての方でも簡単に使えるノウハウが詰まっています。書類作成時間が短縮され、販売や工事といった本来の業務にあてる「プラス」時間を確保いただけるようになります。コールセンターはもちろんのこと、PC遠隔サポートや、業界初の時間外サポート等、手厚いサポートが自慢です。

Q 設備業界の状況は？

消費増税の影響で住宅着工戸数が減り、昨年は、当社のお客様である設備業者様にとっては厳しい環境となりました。幸い、国内景気の回復にあわせて改善が見られますが「plusCAD」を

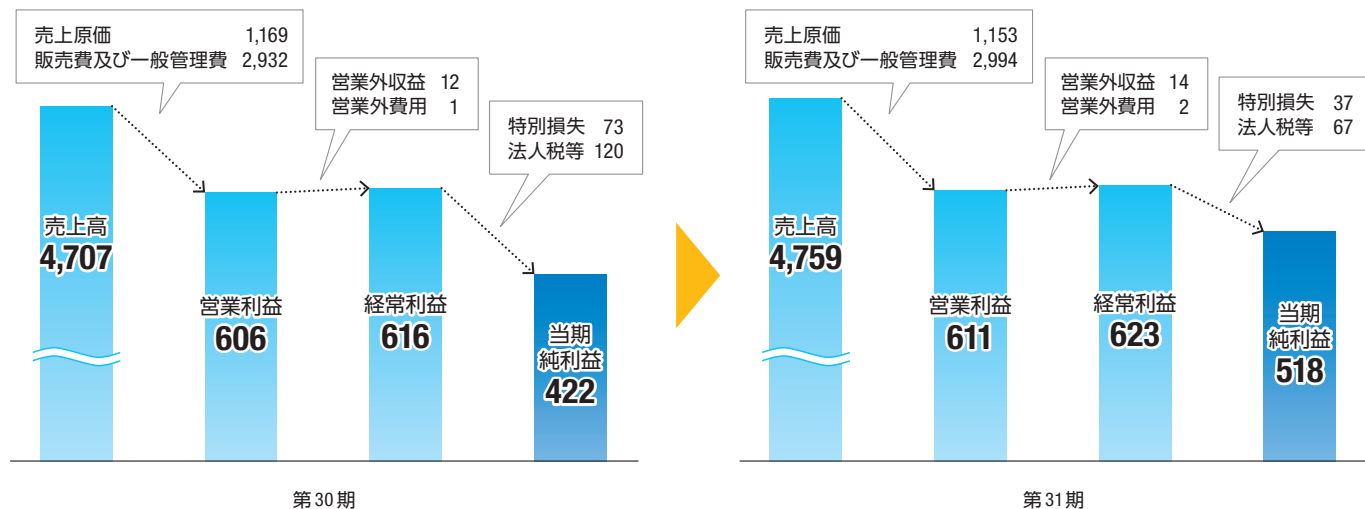
ご利用いただく中小規模の設備業者様にとっては、まだ、景気回復を十分実感いただける状況とは申せません。使い易い商品と、単なるソフト操作説明にとどまらない、業務全体をバックアップできるサポートサービス。2つを提供することで、「プラス」の連鎖を生み出し、業界全体に貢献していきたいと考えています。

Q 業績好調ですが、最近の取り組みは？

創業来、理念やビジョンの社内共有に注力してきましたが、2014年からはHPや各種紙面を通じて、我々の会社や商品についていかにお伝えしていくかという「アウトブランディング」を強化しました。結果、商品・サービスのアピール力が増し、新規お問合せ数、お取引額の増加等、様々な「プラス」効果が生まれています。昨年、新サービス「図面作成レスキュー隊！」をスタートさせました。急な工事が必要となった書類の作成をお手伝いするサービスで、ご好評をいただいております。「業務効率改善」「売上アップ」「コスト削減」といった価値を提供する「設備業界の総合支援企業」を目指しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

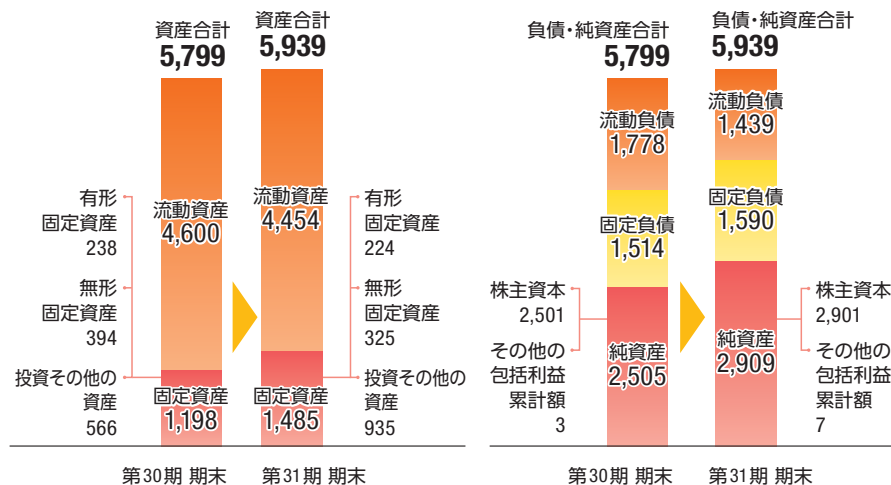
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



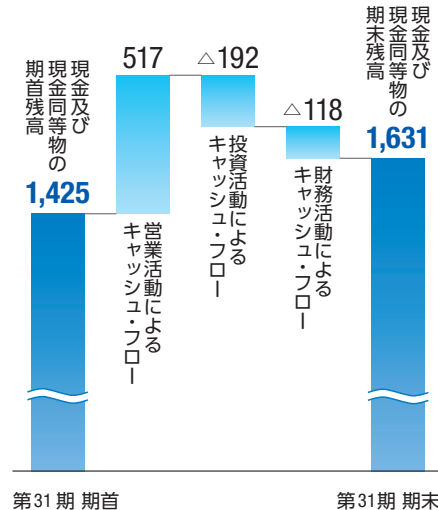
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



会社概要

商 号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所 在 地	本 社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設 立	昭和59 (1984) 年9月18日
資 本 金	1,586,500,800円
従 業 員 数	235名
主 要 事 業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、出来形品質管理システム、 実行予算・原価管理システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、生産スケジューリングシステム
子 会 社	(株)プラスバイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発

役員 (平成27年6月26日現在)

役 職	氏 名	担 当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成	TOC事業本部長兼 TOCコンサルティング部長	(有)トゥルース 代表取締役 (株)プラスバイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd. 社長
代表取締役社長	末広 雅洋		(株)プラスバイプラス 取締役
専 務 取 締 役	石田 秀樹		
常 務 取 締 役	後藤 伸悟	管理本部長兼 経理部長	(株)プラスバイプラス 監査役
常 務 取 締 役	井関 照彦	営業本部長兼 建設営業部長	(株)プラスバイプラス 取締役
取 締 役	藤谷 章一	開発本部長兼 商品管理部長	
取 締 役	津田 誠	事業企画部長	
社 外 取 締 役 (監査等委員)	大矢 勝		
社 外 取 締 役 (監査等委員)	橋本 隆司		東海土建(株) 相談役
社 外 取 締 役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長
取 締 役 (監査等委員)	津田 由美子		



本社

営業所 (出張所)



沖縄出張所

株式数および株主数

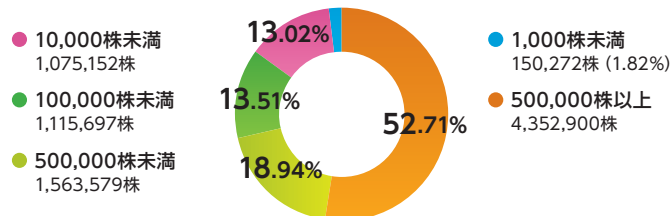
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,259名

大株主

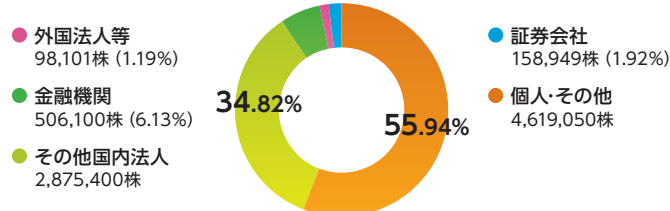
株主名	持株数	持株比率
有限会社トゥルース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,502,900株	18.20%
ビーイング従業員持株会	395,920株	4.79%
株式会社ビーイング	393,559株	4.76%
津田 由美子	299,000株	3.62%

所有者区分別株式分布状況

所有数別



所有者別



WEBサイトのご案内

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

<http://www.beingcorp.co.jp/>

株式会社ビーイング IR 検索

トップページ



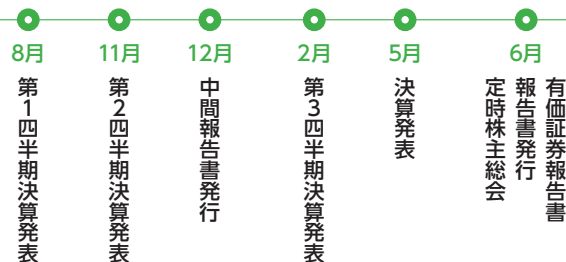
「IR情報」トップ



- 業績ハイライト
- 個人投資家の皆様へ
- 株式について
- IRライブラリー etc.

今後のIRスケジュール (予定)

当社では迅速かつ正確な情報開示を心がけるほか、投資家の皆様に向けたさまざまな活動も行っています。以下は当社の今後のIRスケジュールになります。ご参考の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。なお、予定は予告なく変更される場合がございます。



株主メモ



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	毎年3月31日 (その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話(通話料無料) 0120-232-711
公告の掲載	電子公告 ※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレス http://www.beingcorp.co.jp/
銘柄コード	4734

*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

*特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。